

2023年5月18日

Press Release

弘前れんが倉庫美術館（青森県弘前市）

副館長 兼 学芸統括 木村絵理子 就任のお知らせ

弘前れんが倉庫美術館では、2023年6月1日（木）付で、新たに副館長兼学芸統括として、木村絵理子が就任することとなりましたのでお知らせいたします。

木村は、2000年より横浜美術館において数々の展覧会を手がけ、2012年より同館主任学芸員を務めてきました。また、現代アートの国際展「横浜トリエンナーレ」に長年携わったほか、国外で開催される展覧会のキュレーションにも意欲的に取り組み、国内外の美術館や地域を舞台にさまざまな企画やプロジェクトを手がけてきました。

これらの経験は、当館のミッションの一つである「異なる文化や世界との出会いや交流を生み出し、人々の開かれた感性を育む」ことに寄与するものと考えております。当館では、これからも国内のみならず国外に向けてもアートの魅力を発信するとともに、より一層活動を発展させてまいります。

略歴

木村 絵理子（きむら えりこ）



撮影：成田写真事務所

2000年、早稲田大学大学院文学研究科芸術学美術史専攻修了。同年より横浜美術館に勤務、2012年より主任学芸員。2005年より横浜トリエンナーレに携わり、2020年の第7回展では企画統括を務める。横浜美術館での主な展覧会企画に、「昭和の肖像：写真でたどる『昭和』の人と歴史」展（2017年、横浜美術館コレクション展／2018年、アーツ前橋／2019年、National Gallery of Canada、オタワ）、「BODY/PLAY/POLITICS」展（2016年）、「Welcome to the Jungle 熱々！東南アジアの現代美術」展（2013年、シンガポール美術館との共同企画／熊本市現代美術館）、「奈良美智：君や僕にちょっと似ている」展（2012-13年、青森県立美術館／熊本市現代美術館）、「高嶺格：とくよくみえない」展（2011年、広島市現代美術館／IKON Gallery、バーミンガム／鹿児島県霧島アートの森）など。

広報に関するお問い合わせ

弘前れんが倉庫美術館 広報担当：大澤、石川

TEL：0172-32-8950 FAX：0172-55-5982 E-mail：press@hirosaki-moca.jp 〒036-8188 青森県弘前市吉野町2-1

就任にあたって 木村絵理子より

弘前れんが倉庫美術館は、2020年に開館し、今年で4年目となる若い美術館です。しかしその建物は、日本酒とシードルの工場として、弘前の近代化の一翼を担った100年以上の歴史を持ち、今世紀に入ってから現代アートの発信拠点として、20年前に初めて私を弘前へ導いてくれた場所でもありました。アートは、わたしたちに多様な考え方に触れて、広い世界と直接つながることを可能にしてくれます。新しい考えを受け入れ、なにかを生み出していく場所であり続けてきたれんが倉庫の歴史を受け継ぎつつ、市民にとっても、これから初めて弘前を訪れるかもしれない、あらゆる人たちにも開かれた美術館となっていけるように、力を尽くしていきたいと思います。

弘前れんが倉庫美術館 概要



©Naoya Hatakeyama

明治・大正時代に酒造工場として建設され、戦後はりんごのお酒シードルの工場として使用された建物を改修した美術館。「記憶の継承」をコンセプトに、可能な限り建物を残した。建築や地域に合わせた、コミッション・ワークを重視し、奈良美智、ジャン＝ミシェル・オトニエルの作品をはじめ弘前ならではのコレクションを形成している。空間の特性を生かした現代アートの展覧会を開催している。

所在地	青森県弘前市吉野町 2-1
設置者	弘前市
指定管理者	弘前芸術創造株式会社
館長	三上雅通
特別館長補佐	南條史生
WEB	https://www.hirosaki-moca.jp/

【開催中の展覧会】

2023年度 春夏プログラム 「大巻伸嗣—地平線のゆくえ」
会期：2023年4月15日（土）－2023年10月9日（月・祝）